

科目名	文化情報論特講	担当者	アキクサ 秋草 ジュンイチロウ 俊 一郎	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	-------------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	文化情報専攻での研究活動の基盤として必要なリテラシーの涵養を目的とする。 言語・映像・音声をつうじた表現活動や、教育活動への理解を深めるために、狭義の専門・研究分野にとらわれずに広く、多様なジャンル・分野・言語圏の実践に触れることで、研究者としての感性、問題意識を育ててほしい。また、人文学全般の思考の枠組みを理解するために、現在の欧米圏の学術書の文献の水準を理解し、最新の学術潮流を、自分の研究に役立てることができるようになることを目標とする。		
到達目標	1) 文化情報分野において研究活動を進めるための知識を習得する。 2) 各自の研究課題を自律的に遂行するためのリテラシーを身につける。 3) 文化グローバリゼーションにともなう議論を理解し、各自の研究を進めることができる。		
学修方法	<p>★文化情報専攻の博士前期課程における必修科目であり、初年次に履修すること。</p> <p><通信授業（在宅学習）2単位分></p> <p>1) 前期：基本教材1の（1）を精読し、参考図書等を参照して、レポート課題1をまとめる。 2) 後期：基本教材1の（2）を精読し、参考図書等を参照して、レポート課題2をまとめる。</p> <p><スクーリング 2単位分></p> <ul style="list-style-type: none"> ・必修科目履修中に夏期と冬期のいずれかに必ず1回、原則として全日出席する。 ・文化情報専攻の教員によるオムニバス形式の講義に参加し、発表ならびに討論を行う。受講した内容と基本教材2を基に、参考図書等も参照して、レポート課題1と2をまとめる。 <p>★通信授業のレポートについては、Manaba Folioの掲示板を使った相互学習・添削をおこなう。 スクーリングのレポート（初稿のみ）については、提出後、Manaba Folioの掲示板で共有する。</p>		
スケジュール	<p><通信授業（在宅学習）：基本教材1></p> <p>1) 前期：レポート課題1 初稿〆切6月30日⇒最終稿〆切 9月20日（前期レポート〆切日） 2) 後期：レポート課題2 初稿〆切11月30日⇒最終稿〆切 2018年1月15日（後期レポート〆切日）</p> <p><スクーリング（対面授業）：基本教材2> 夏期（7月15日～17日）／冬期（11月17日～19日）</p> <p>①文化情報分野における研究、研究倫理、文献検索の方法、引用・参考文献の示し方 等 ②比較文学、日本文化、言語教育、言語学、英語教育等に関する講義</p> <p>1) スクーリング・レポート課題1：スクーリング1週間後（初稿のみ） 2) スクーリング・レポート課題2：スクーリング終了の1か月後（初稿のみ）</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	通信授業（在宅学習）	50%	基礎的学術論文作成のスキルが習得されているか、課題に応じた内容となっているかを評価する。
	スクーリング	50%	レポートの内容（論旨、構成、独創性） 課題1：10%、課題2：30% 参加度（討論、発表）10%
履修者への要望	<p>・基本教材1のレポートは、初稿から最終稿にいたるまで、教師のフィードバック・相互学習による推敲、最終稿の完成と段階的に進めること。上述したレポート〆切日より提出が遅れた場合は、成績が低くなることに留意すること。引用については盗用にならないように重々注意すること（悪質な場合は単位が取得できなくなる）。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1 (通信授業/在宅学習用)	
教材の概要	<p>(1) 著者名： デイヴィッド・ダムロッシュ 教材名： 『世界文学とは何か?』(国書刊行会, 2011) ISBN:978-4-33-605362-6 5,600円+税</p> <p>(2) 著者名： フランコ・モレッティ 教材名： 『遠読——<世界文学システム>への挑戦』 (みすず書房, 2016) ISBN-13: 978-4874246733 4,600円+税</p> <p>教材(1)は「世界文学」という概念を、現代のアメリカの文脈で論じたもので、時代・地域・言語もさまざまな表現活動を「生産・流通・翻訳」という三つの観点から分析している。 教材(2)は現代において文学を論じるうえで、ひとつの作品を丁寧に時間をかけて読む「精読」ではなく、統計や二次資料などを活用した「遠読」という新しい手法を提唱している。</p>
参考図書	<p>秋草俊一郎編『文学 特集「世界文学」の語り方』(岩波書店, 2016年10月号) ISSN: 0389-4029 2,700円+税</p> <p>パスカル・カザノヴァ『世界文学空間』(藤原書店, 2002) ISBN: 978-4894343139 8,800円+税</p>
履修上のポイント	<p>21世紀において、文学や表現活動を論じるうえでの問題意識はなんなのか。論者が「世界文学」と言うとき、前提とされている歴史的な問題はなんなのか、考えてみてほしい。</p>
レポート課題 1	<p>『世界文学とは何か?』における文化・文学の「流通」、「翻訳」、「生産」の考え方について説明したうえで、ひとつ以上の章をとりあげて要約し、そのアプローチを参考にして、具体的な作品について論じなさい。(参考文献・注・引用をのぞいた本文3,500字以上)</p> <p>留意点：従来の「世界文学」とどう異なるのか確認しつつ検証し、各自の研究主題・対象について、具体的に論述すること。</p>
レポート課題 2	<p>『遠読』における「遠読」の考え方について説明したうえで、ひとつ以上の章をとりあげて要約し、そのアプローチを参考にして、具体的な作品について論じなさい。 (参考文献・注・引用をのぞいた本文3,500字以上)</p> <p>留意点：従来の「精読」とどう異なるのか確認しつつ検証し、各自の研究主題・対象について、具体的に論述すること。</p>

基本教材 2 (スクーリング用)	
教材の概要	<p>著者名： 秋草俊一郎, 井上健, 古賀太, 呉川, 椎名正博, Dorsey, John T., 保坂敏子, 松岡直美</p> <p>教材名： JMOOC教材『文化翻訳入門—日本と世界の文化コミュニケーション—』 (講義映像, 配布資料: スクーリング開講前に提示・配布する。)</p> <p>2018年1月11日~2月7日に開講したJMOOC講座『文化翻訳入門—日本と世界の文化コミュニケーション—』(総合社会情報研究科制作)の講義映像と配布資料である。比較文化、文学、言語教育の研究者が、「文化翻訳」をキー概念に、文化の翻訳・翻案・変容の事例を取り上げ、解説する。</p>
参考図書	<p>(1) アンソニー・ピム著 『翻訳理論の探求』(みすず書房, 2010年) ISBN:978-4-62-207518-9 5,000円+税</p> <p>(2) 二通信子, 大島弥生, 佐藤勢紀子, 因京子, 山本富美子 『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』(東京大学出版会, 2009) ISBN-10: 4130820168 2,500円+税</p>
修上のポイント	<p>オムニバス授業や基本教材2, 参考図書(1)を通して「文化翻訳」の事例を知り、理解を深めること。</p>
レポート課題 1	<p>スクーリングでの講義の概要を要約し、それについて自分の意見をまとめる。(1,000字~1,500字)</p>
レポート課題 2	<p>夏期：各分野の研究手法の講義や基本教材, 参考図書, ならびに、スクーリングでの発表と討論を踏まえて、<u>研究計画書</u>をまとめて、提出する。(3,000字~4,000字)</p> <p>冬期：各分野の研究手法の講義や基本教材, 参考図書, ならびに、スクーリングでの発表と討論を踏まえて、<u>研究経過報告書</u>をまとめ、指導教員のレビューを受けた上で提出する。(3,000字~4,000字)</p>